

～STOP! 障がいがあるから・STOP! どうしようもない～

知的・発達障がいのある子どもへの

性暴力防止

オンライン連続セミナー

8月24日(日)スタート!

2025

全7回 10:00～12:30



障がいのある子どもへの性暴力に私たちの社会が気づくことは容易ではありません。“性暴力”そのものが隠され、当事者が沈黙を強いられるという現状に加えて、“障がい”に対する誤った社会通念や偏見の存在が、「障がいがあるから」「どうしようもない」と“障がいがある子どもへの性暴力”をなかったことにしてしまいがちです。

CAP センター・JAPAN では知的・発達障がいのある子どもたちが豊かに人と関わるための予防教育—『子どもへの暴力防止／CAP プログラム』と『人との交流安全／サークルズプログラム®』を提供しています。これらの土台である人権とバウンダリーの視点を共有し、性暴力防止という社会課題の解決にむけて、5年目となるオンライン連続セミナーを開催します。

本セミナーはすべてオンライン講座です(Zoom を使用)

※すべてオンデマンド配信視聴のみでの参加もできます。(資料はありません)

※オンデマンド配信にはグループセッションは入りません。

※全回参加の方の資料は事前に URL をお知らせし、ダウンロードしてご準備いただくことになります。

お申込み

以下の Google フォームからお申し込みください。申込み確定後、ご登録のメールアドレス宛に振込口座等をご案内いたします。

申込締め切りは **8月5日(火)16:30** までです。

お申込後に参加できなくなった場合は必ず事前にキャンセルをお願いいたします。

<https://forms.gle/Zdr16xPeTAH1hbVu9>



参加費

- ◆全7回参加 20,000 円 定員:25 人
※事前送付資料／データ、およびオンデマンド視聴を含む
- ◆オンデマンド視聴のみ 10,000 円 定員:5 人
※全7回、資料なし

対 象

知的・発達障がいのある子どもと日常的に関わる支援者
(教育関係者、保育関係者・学童保育・放課後等デイサービススタッフ、
医療・福祉関係者、地域の支援者など、どなたも歓迎)

講師チーム

CAP(子どもへの暴力防止)スペシャリスト

障がいのある子どもへの暴力防止に取り組んできた
CAP スペシャリスト。チーム・知的・発達障がいのある子
どもへの性暴力防止セミナーメンバー。

主 催

認定 NPO 法人 CAP センター・JAPAN

〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町 2-1-1-104

TEL: (06)6648-1120 FAX: (06)6648-1121

E-mail: info@cap-j.net <https://cap-j.net/>



知的・発達障がいのある子どもへの性暴力をなかったことにしないためには、従来の社会通念を手放し、適切な知識・スキルを持つことが必要です。中でも、障がいのある子どもとの“日常のコミュニケーション”に対する知識と手立てを持つことは、子どもが権利行使の主体として自分の大切さを実感することにつながり、それは性暴力防止の鍵といっても過言ではありません。さらに、早期発見・早期支援、そして回復等においても大きな役割を果たします。

2024年4月1日からは行政機関だけでなく、民間事業者においても“合理的配慮”が義務付けられました。性暴力への支援をする側が「コミュニケーションをとろう」「あなたの意思・意見を教えてほしい」という意識を持って臨む必要があります。ツールのご紹介や事例を通じて、“支援者があきらめない”、“障がいのある子どもにあきらめさせない”コミュニケーションについてアイデアを広げておくことが求められます。

そこで、セミナー第1部では「STOP!障がいがあるから」「STOP! どうしようもない」「子どもの安全基地を作ろう!」を掲げ、そのために必要な知識・スキルを共有し、“できること”を考えていきます。第2部では「コミュニケーション支援」のため知識・考え方や手立てを共有し、知的・発達障がいのある子どものセルフアドボカシーをめざすことについて考えていきます。

本セミナーは2部編成(第1部 約85分/第2部 約30分/グループセッション・質疑応答 約25分)の全7回でゆっくりと学び合いを進めていきます。(途中休憩あり)



講座概要 時間はすべて 10:00~12:30

ゼロベース I 8月24日(日)

- 第1部:知的・発達障がいのある子どもへの性暴力を人権・バウンダリーの視点から捉え直す
- 第2部:セルフアドボカシーをめざすコミュニケーションが子どもの人権意識とバウンダリーを育むことを意識するーコミュニケーション支援が必要な理由

ゼロベース II 9月21日(日)

- 第1部:知的・発達障がいを捉え直し、社会構造を意識し、性暴力に対する支援に必要な姿勢を持つ
- 第2部:コミュニケーションは一日にして成らず
事例提供ー安心・安全の感覚を高め、セルフアドボカシーをめざした10年の道のり

第1回 10月26日(日)

- 第1部:当事者をつながる(1)ー性暴力被害を受けた(疑いのある)子ども
- 第2部:セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(1)

第2回 11月16日(日)

- 第1部:当事者をつながる(2)ー性加害行動をした(疑いのある)子ども
- 第2部:セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(2)

第3回 12月14日(日)

- 第1部:子どもの身近なおとなをつながる(1)ー家族
- 第2部:セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(3)

第4回 2026年 1月18日(日)

- 第1部:子どもの身近なおとなをつながる(2)ー社会資源・仲間・自分をつながる
- 第2部:セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(4)

第5回 2026年 2月15日(日)

- 第1部:予防的観点でできることー4つのCの具体的取組みを知る
- 第2部:セルフアドボカシーをめざすコミュニケーション支援の手立てを持つ(5)